

38号

# 生駒市自治連合会だより

発行日 平成25年3月1日

発行 生駒市自治連合会

編集

自治連合会だより編集委員会



自衛隊による炊き出し

## 特集

# 生駒市総合防災訓練



ヘリコプターで人命救助

### 生駒市総合 防災訓練を開催

平成二十四年十二月二日(日)、「自助・共助と連携」をテーマに、大規模地震を想定した総合防災訓練を生駒市と共催で開催し、約三千九百人が参加しました。

今回の訓練は、主会場を真弓小学校とし、市内各地区に地区会場を設け同時進行し、防災無線を使って被災状況の確認などを行いました。

主会場では、地域住民、自衛隊、警察署、消防など関係団体が連携した訓練を実施しました。いざというとき、どのように行動するのか。正しい防災知識を学び、安全な暮らしは、地域で築くことを再認識しました。

自治連合会では、今後も市と協力しながら、災害に強い自助・共助のまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。(各地区の訓練詳細は2ページ以降)

文具・事務用品  
事務機・スチール製品

文具の  
**いなもり**

〒630-0257  
奈良県生駒市元町1丁目3-19  
TEL 0743-75-2808

印鑑・名刺特急仕上げ!!

印鑑・ゴム印・名刺  
軽印刷の専門店

**はんこ屋21**

株式会社 **いなもり**

奈良県生駒市元町1-3-19  
電話 0743-71-6600



高山製菓株式会社

〒630-0101生駒市高山町6785 ☎0120-6666-11 FAX0570-068-068

★ネット販売もご利用ください

高山製菓

検索 ←

# 北地区自治連合会

真弓三丁目自治会  
会長 吉川 晶恭

真弓小学校区では、本会場である真弓小学校のグラウンドへ住民約百名と、要援護者、負傷者十数名が車イスとリヤカーを使い民生・児童委員とともに避難して来たとの想定で始まった。

初期消火訓練・救護所設置訓練・避難所設置訓練・土砂崩れ現場の復旧作業訓練・給水車による飲料水の給水訓練を行い、避難所では仮設トイレやダンボールで簡易ベットの組み立て、アルファ米の炊き出し訓練を行った。

しかし、今回の訓練における反省点は、まず最初に各自治会において民生・児童委員とともに安否確認を行ってから避難所まで避難誘導の訓練をするべきであった。



子どもたちも参加しました



トリアージ

# 西地区自治連合会

喜里池自治会  
会長 吉田 登

西地区は、俵口小学校区と生駒台小学校区があり、生駒台小学校区は十四自治会で、五ブロックに分かれて訓練を行い、六百五十名参加した。俵口小学校区は、八自治会四千三百二十八世帯を対象に実施した。

## 一・実施するための打合せ会

第一回検討会を八月六日に自治会長、民生・児童委員代表、中学校長、小学校長、幼稚園長、PTA代表が参加し、訓練場所は俵口小学校、参加人数目標五百人を設定した。併せて訓練内容と各リーダーを決定。その後、検討会等を重ね十一月十四日参加団体で当日の訓練内容を決定。

## 二・訓練実施概要

九時三十分地震発生後、各



俵口小に集合



土嚢づくり

自治会は一時避難場所に集合し、十時十五分迄に俵口小学校グラウンドに避難。総数五百二十七人(中学生三、小学生六十、園児二十三、幼児五含む)。十時三十分連合会長開催宣言し四箇所に分かれて左記訓練を行い十二時に終了。

## 三・訓練内容

- ① テント張り
- ② 炊き出し
- ③ 訓練アルファ米で実施
- ④ 土嚢作りと土嚢積み訓練
- ⑤ 新聞紙でスリッパ作り
- ⑥ 展示(防災グッズの展示、ブロックを使った釜戸、アルミ製軽量車イスの紹介)
- ⑦ 防災無線使用
- ⑧ は市職員指導受ける

## 四・考察

地区自治会員が一堂に集まる今回の訓練好評であった。

「THE BETTEI」は あなたの大切な方を  
ご家族らしく送り出せるセレモニーホールです  
家族葬専用会館 (セレミューズ 瑞光 横)

# THE BETTEI

生駒市桜ヶ丘2-50 TEL (0743) 75-4477

※事前相談・会館見学受付中

## まちのイベントをサポートします!

- 自治会イベントのレンタル
- 夏祭り
- 各種レンタル(テント・テーブル・イス)
- 餅つきセット etc

あすか野自治会 南田原町自治会 さつき台自治会 株式会社  
白庭台自治会 東生駒自治会 生駒グリーンマンション  
真弓南自治会 ひかりが丘自治会 俵口町自治会  
北大和自治会 月見ヶ丘自治会 (順不同・敬称略)  
生駒台自治会 松美台自治会

エヌ・アイ・プランニング  
TEL.0743-73-8877  
〒630-0201 奈良県生駒市小町446-1

☆ご相談・御見積り無料(日曜・祝日も可) 担当/森口・上松まで

# 中地区自治連合会

辻アールファーム  
会長 森岡 文夫

中地区二十五自治会では、自治会同士が助け合うためにはどうすれば良いのか、その手がかりとして今回の訓練を行おうと計画を進めてきました。併せて、民生・児童委員、小学校、幼稚園・保育所関係者とも三回の対策会議を開いてそれぞれの課題の共有に努めました。

九時三十分地震発生とともに、それぞれ自治会個別に近隣の公園に住民避難の呼びかけや、自治会役員が一時避難場所・自治会長宅等に安否確認情報を持ち寄るなどの行動を行いました。幼稚園、保育所の園長さんも自治会の避難場所に避難し、その後の行動にも参加を頂きました。

十時、谷の多い中地区では、地形を考慮した地域センター（図書会館、市民体育館駐車場等六カ所）を設定、周辺各自治会から集まっていただき、地域の状況を取りまとめ桜ヶ丘小（中地区防災センター）へ報告するという情報伝達訓練を行いました。

十一時、桜ヶ丘小学校へ集合後、給水車による給水訓練、桜小防災コンテナの見

学、炊き出しのアルファ米、豚汁の試食を行いました。地域の方にも多数参加していただき、三百五十人の参加をいただきました。



炊き出し用の釜を使ってアルファ米、豚汁を準備

# 東地区自治連合会

緑ヶ丘自治会  
会長 上埜 作治

地震発生想定時刻に直ちに避難訓練を開始、一時避難場所に集合、避難予定者の点呼確認の後、直ちに指定避難所である東小（十三自治会）緑中（四自治会）に移動、四百二十六人が、共に重要なコミュニケーションの推進を図るため炊き出し訓練を行った。

緑中を地区本部として、東小、緑中における地震被害状況と避難者の状況の伝達訓練を行った。更に真弓小に設置されている市災害対策本部と無線機を操作して情報伝達訓練も実施した。午前十一時終了。

指定避難所では防災コンテナに備えつけの炊き出し用鍋とコンロを使って豚汁とアルファ米を炊き出し、東小三百食、緑中二百食を、各給水、給食班担当の自治会が手順通り避難者に配食を完了、美味しく頂いた。



東小に集合



緑中で炊き出し

行動するか」と絶えず想定し日常生活を送ることが肝要であることを痛感した、意義のある防災訓練であった。

## セミューズ 瑞光

公友社 生駒営業所  
奈良県生駒市桜ヶ丘2-46  
TEL (0743) 75-3987  
FAX (0743) 75-4878

## セミューズ 秋篠

公友社 奈良営業所  
奈良県奈良市秋篠町1180-43  
TEL (0742) 47-4444  
FAX (0742) 47-4439

## セミューズ 矢田山

公友社 大和郡山営業所  
大和郡山市泉原町1-5  
TEL (0743) 52-4444  
FAX (0743) 52-4456

経済産業大臣認可 全国セレモニ-事業協同組合加盟

有限会社 **公友社**

〒630-0256 奈良県生駒市本町6-1

0120-421-444

TEL (0743) 75-4444・(0743) 73-2889

FAX (0743) 74-1049

# 南地区自治連合会

吉分町東自治会  
会長 藤尾 清

南地区二十七自治会より総数二百二十九人もの参加があり、防災意識を高める為の取り組みとしては、大いに意義のある、一歩を踏み出した感のある一日でありました。

南地区自治連合会としては、内容について協議を重ねましたが、い

提供をして頂きました。正に、自助・共助に基づく防災訓練を実施する事が出来ました。今後は、この経験を生かして、取り組みを進めて行かなければならないと実感しました。

各自治会より徒歩で避難経路を確認しながら、地区会場に集合、情報伝達と給水訓練、防災倉庫の点検を実施しました。炊き出し訓練では、JA女性部の皆さんの協力で実演と試食の



耐震性貯水槽からの給水訓練



炊き出し風景

## 平成二十四年度 第二回生駒市自治連合会全体集會を開催

平成二十四年度生駒市自治連合会第二回全体集會を一月三十日、市コミュニティセンター文化ホールで開催しました。

今回の全体集會では、昨年実施した生駒市総合防災訓練の報告を行いました。最初に、総合防災訓練のDVDを視聴し、その後、森岡防災部会長からの報告がありました。**報告の要旨**

今回の総合防災訓練は、自治会をはじめ、民生・児童委員、学校、幼稚園、老人クラブなどが参加し、各地区自治連合会が、自治会同士の連携を進めることができた大変意義のある防災訓練となった。平成二十三年度から防災部

会では、生駒市の防災体制や生駒市地域防災計画について勉強会を実施し、防災コンテナ、備蓄庫などの見学を行ってきた。

勉強していく中で、地区によって想定される被害が違、各地区でも独自の訓練内容を決めて、防災訓練を実施するのがいいのではないかと、本部と連携し



ながら地区の防災訓練を実施することになった。一昨年の東日本大震災から、東南海、南海地震の可能性を感じさせ、生駒市民の災害の関心が高まる中で、防災訓練に取り組み、自治連合会として会員の防災意識の高揚を図ることができた。これで行われるのではなく、「自助・共助と連携」を今後も継続していくことが大切である。多数の自治会長の参加をいただき、災害への備えの意義、必要性を再確認する機会となりました。全体集會後には、地区別会議も行われ、地域の課題解決に向けて、意見交換が行われました。

大粒脂肪酸の力で、水を使わずいつでもどこでも強力除菌！  
99.99% 除菌！  
Kireinano アルコール

美光堂 〒630-0226 生駒市小平尾町 852-A6  
TEL 0743-77-9607 <http://kireinano.net/>

植木・和洋庭園・造園土木・外構工事  
見積・設計・施工・管理  
奈良県知事許可(般)第7258号

(有) 吉川 翠 松 園  
吉川 景三  
〒630-0226 生駒市小平尾町 176 番地  
TEL (0743) 77-6344 FAX (0743) 77-8896

# 北地区県外研修

## 「人と防災未来センター」 「北淡震災記念公園」を 視察して

真弓南自治会  
会長 城戸 英俊

北地区自治連合会は、平成二十四年十一月十七日、「人と防災未来センター」と「北淡震災記念公園」を訪問し、阪神淡路大震災の教訓を得るとともに、防災に関する知識を習得し、災害に強い街づくりのために、自主防災活動について学ぶことを目的に実施した。

平成十四年に開設された「人と防災未来センター」では地震破壊のすさまじさを映像と音響で体験した。今さらながら、想像を絶する地震災害の恐ろしさに驚愕するとともに、倒壊した家屋、高速道路の倒壊の映像を見るにつけ、このような震災が二度と起こって欲しくないと強く思う。次に、平成十年にオープンした北淡震災記念会館を訪問した。各種展示の中で野島断層保存館では大震災で発生した断層の亀裂がそのまま保存・展示されていた。また、震災体験館では震度五強の揺れを実地体験した。改めて地

震の凄まじさと、怖さを実感した。

体験談では、地震災害は予測困難であり、いかに被害を少なくする備え（自助）が大切であること、また、淡路島北淡町では地震で倒壊した家屋に閉じ込められた人の大半は近隣の皆さんで救出したとの話、共助の大切さを強調された。

今回の研修は、今後予想される南海、東南海地震などの地震災害に対して、どのように備えておくべきかを、再認識出来た。

自治会において、災害への備えは大切ですが、すべての災害を防ぐことに限界はあるが、コミュニティを抜け隣との信頼関係を築き、いざと言う時に助け合える関係を築いておくことこそが、最も重要なことと考える。



野島断層

# 西地区県外研修

## 「稲むらの火の館」を 訪ねて

ライオンズマンション  
依口自治会  
会長 長岡 均一

西地区自治連合会は、平成二十四年十月二十七日に和歌山県湯浅町の「稲むらの火の館」と「和歌山市消防局防災学習センター」を訪れました。今回の研修は十二月に行なわれる、市民参加の生駒市総合防災訓練の意識高揚と知識の習得が目的です。

そのため、バス車中でも各小学校区の総合防災訓練実施案の報告及び検討会を市職員を交え、湯浅町到着まで行いました。

「稲むらの火」の物語は、小泉八雲ことラフカディオ・ハーン作品で知られていますが、そのストーリーの大筋は次の様なものです。海辺の村の庄屋は高台にある自宅から、海の水が引いて行っているのに気付いた。

津波が来る。早く村人に知らせなければならぬ。今から浜に行っても間に合わないし、声も届かない。庄屋は収穫したばかりの

稲の束に火をつけました。

浜辺にいた村人は燃え上がる火を見て、「庄屋さんが火事だ」と山道を駆け登って、津波の被害から免れた、と言う物語です。その後庄屋は、自費を投じて津波よけ大堤防を建設しました。

事実、湯浅町の堤防は昭和の南海地震津波で見事にその役割を果たしました。

そんな湯浅町の防災設備を見学した後、和歌山市消防局防災学習センターで、煙避難体験、消火器による初期消火体験、地震体験車『ごりよう君』（稲むらの火の庄屋の実名）による震度七の直下型地震を体験しました。

今回の研修で防災訓練が、いかに大切かを実感しました。



南海大地震で救った堤防

特定特殊自動車操縦ガス基準  
のフロード法適合車  
KOMATSU HB 205  
HYBRID

ISO14001  
環境マネジメント  
認証取得

環境に配慮する機械土木の専門企業

上武建設株式会社  
KAMITAKE

本社：奈良県生駒市北大和4丁目21番地の2  
TEL 0743-78-7191 / FAX 0743-79-1321  
大阪支店：大阪府四条畷市さつきヶ丘19番6号  
TEL 0743-71-0885 / FAX 0743-71-0885

人と自然に優しい資源環境を

資源総合リサイクルセンター  
製鋼原料・非鉄金属・ビン、カン選別処理・ペットボトル処理

関西メタルワーク株式会社

ISO14001 認証取得工場

〒630-0226 奈良県生駒市小平尾町1491-1 TEL (0743) 77-6017・6045 FAX (0743) 77-6886  
URL http://www.kansaimetal.co.jp E-mail info@kansaimetal.co.jp

# 中地区県外研修

## 奈良県十津川村を

### 視察して

仲之町自治会

会長 木村 茂

昨年の台風十二号による集中豪雨被災地、和歌山県、奈良県十津川地区を訪れた。

十津川村では、十津川村の被害状況と一年かけての現状復興についての講義があった。全国からの支援を頂いて、生命线である国道一六八号、一六九号道路は通行可能となった。

平成二十三年八月台風十二号が四国に上陸。県内では、千八百か所の土砂崩れ、山腹崩壊。土砂ダムは、五條市大塔町赤谷、野迫川村北股、十津川村長殿、栗平の四ヶ所。現在は、仮排水路が完成している。河川堆積四〜五m上昇。堆積物の処理は、昔ならコンクリート加工したが、現在は、大量の土砂の処分が出来ずに困っているとの事だった。ライフラインは、電気、電話一ヶ月無し。衛星電話を買っていたら良かったと反省しているとの事。問題は、情報不足と孤立。役場職員の六割しか出勤できず、人員不

足で手が回らなかつた。

各方面から支援。自衛隊二百五十名で行方不明者の捜査。生駒市からも七名支援。十月末で終了。

昨年の盆前に七つの区長が自主防災の強化に向けて相談。防災訓練はすべきで、住民と行政が訓練の中でいろいろな気づきがある。自分の命は、自分で守る。道路網の寸断を想定して三日分の食料確保が必要との事。

今回感じたことは、自然の力には絶対勝てない。なすすべもない。だから危ない時は、すぐに逃げる。自分の事は自分で守る。いつ起こるかもしれない東南海・南海地震に備える心がけが大切であると痛切に感じた。近所回りの共助、そして公助。被害が少しでも少なくなれば、生駒市民の誇りであると思う。



和歌山広村堤防での研修

# 東地区県外研修

## 知多市の

### 「コミュニティ」施策を視察して

東生駒グリーンマンション自治会

会長 佐藤 常雄

東地区自治連合会は、十一月二日から二日間、愛知県知多市で県外研修を行った。そこでの「小学校区」単位の「コミュニティ」施策について学び、生駒市での「市民自治協議会」設立に向けた活動に資することが主な目的である。

知多市は昭和五十年代よりコミュニティを組織し、研修に参加した南粕谷コミュニティは二十八年の歴史がある。その事業は文化部会・体育部会等七つの部会により運営され、活発に活動している。

特に、説明を聞いた「おたすけ会」事業には非常に驚いた。前年百二十二件の活動依頼があり、登録ボランティアは六十四名。このことからとても地域住民の参画意識の高さが伺える。

さて、一通りの説明が終わると、質疑応答の時間になると、多数の質問が寄せられた。自

治会・自治会役員とコミュニティ役員との役割分担、地域活性化の効果等。活発な議論が行われ終了した。

二日目は、太陽光発電所「メガソーラーたけとよ」の視察があった。説明を聞いて、再生可能エネルギーだけではまだ難しいことが分かり、国民の一人として今後のエネルギー政策を考える良い機会となった。

今回の研修が連合会及び、自治会活動に活かせるように頑張りたい。

最後になりましたが、忙しい中時間をさいて研修に参加していただいた知多市の皆様にお礼申し上げます。



メガソーラーたけとよにて

徹底した衛生管理で「美味」をお届けします。

すし・弁当・幕の内・仕出し料理専門店

**A**エー **C**シー **S**エス \*受付時間\* 午前9時～午後7時45分

あづまケータリングサービス 年中無休 株式会社 東祥

**東生駒店** ●近鉄東生駒駅北へ500m

**0743-75-3033 (代)**

生駒市辻町53番地北畑ビル1F

幼児の健康と  
情操を大切に  
育てる……。

学校法人エンゼル学園  
**エンゼル  
幼稚園**

生駒市南田原町789-5

●お申込み・お問い合わせ ☎78-0386 (送迎バス有り)

# 南地区県外研修

## 多治見市の自主防災

### 活動を視察して

萩の台住宅地自治会

会長 田邊 滋生

十月十九日から二日間、愛知県多治見方面の視察研修を実施いたしました。

往きの車中では、危機管理課平井課長から「生駒市の自然災害と防災・減災」の講義や本市に類似している「多治見市について」の事前学習があり、なぜ多治見市に決定したかなど分かりやすい話で研修の雰囲気が高まりました。

最初の視察地である「多治見市役所」では、多治見市の職員や自主防災組織の方から色々な話を聞かせてもらい、私は「多治見市は、市民レベルの自主防災活動意識が高く、それを具体的に支援する行政の熱意は厚い」と感じました。特に、自主防災組織率が九〇%近くあることや、防災行政無線、避難場所の整備、防災リーダーの育成などが進められ、行政、市民が一体となっていると思えました。活発な質疑応答や意見が出され、とても有意義なものでした。

次の視察地である「花フェスタ記念公園」は、太陽光発電等によりクリーンで効率的な「単独自立型エネルギー供給システム」を運用し、CO2削減効果を実証公開している施設です。自然エネルギーを活用し環境に配慮した最先端の設備を直接見て学ぶことができました。

最後に視察した「豊田市防災学習センター」では、東海地震と台風等を臨場感溢れる設備で体験をしたり、実験模型で身につけている防災意識をさらに深めることができました。

今回の視察研修は、地域のつながりと自助、共助の必要性を再認識することができたうえ、参加者相互の親睦をさらに深めることができ大変良かったと思っています。みなさん、今後も「天災は忘れずにやってくる」を肝に銘じて活動していきましょう。



花フェスタ記念公園にて

# 地域で支える「認知症徘徊者」保護活動の模擬訓練

東松ヶ丘自治会

会長 相田 浄司

## はじめに

介護の必要な「認知症高齢者」が厚生労働省推計二〇一二年推計では、三百万人を突破するとしていられる。六十五才以上の十人に一人の割合となる。

「認知症高齢者」の徘徊事故が増える傾向にあり、市福祉支援課の対応が急務となっている今般、当自治会に徘徊者を発見保護する模擬訓練の要請があり対応した。

## 目的

道に迷って家に帰れない認知症の人を地域で早期発見保護する仕組みを探る。また、認知症を正しく理解し徘徊者の気持ちに配慮した接し方を学ぶ。

## 体制づくり

自治会役員、民生・児童委員、防災会役員が中心になり福祉支援課より「認知症」の人への対応について講座を受けた。探索エリアを四区分し、メンバーを四組に分けた。

## 搜索依頼と活動スタート

市より不明者情報（年齢、服装、身体的特長、趣味等）

と搜索依頼のFAXが自治会長宅に入り、四組のリーダー宅に転送し搜索活動をスタートした。

## 発見連絡と保護

本人発見、市へ連絡し集会所へ誘導後家族の元へ引き渡した。

## 今後の対応

本訓練内容を毎年班長会の年間活動計画に入れ、早期発見保護の環境作りを行ってきたい。



本人発見、説得中



搜索スタート

**環境対策型オフィス**

太陽光発電 風力外灯 壁面緑化 雨水利用

★食品リサイクル  
生駒市内の事業所から排出される食品残さを収集し、市運営リサイクル施設に運搬しています。

★一般家庭ゴミ収集 ★粗大ごみ収集  
★事業系ごみ収集 ★産業廃棄物収集

IKOMA EISEISHA (株)生駒市衛生社

生駒市北田原町1548-1  
受付時間 AM9:00~PM4:00 TEL0743-79-9031

課外授業  
生駒市内12小学校の4年生を対象に実施しています。

グリーンキャンペーン  
竜田川清掃、小さな親切運動で排出された廃棄物の収集運搬を行っています。

一般廃棄物収集運搬地域  
生駒市  
産業廃棄物収集運搬地域  
奈良県・三重県・京都府 金屋くず師・古物商

仕出し・持ち帰り・食事

**忠兵衛**

0800-123-1233

生駒市本町 5-18 生駒駅南びっくり通り  
TEL0743-73-7688 FAX0743-73-7689  
営業時間 / AM11:00 ~ PM10:00

### 市長との懇談会

昨年十一月六日、市長と自治連合会役員との懇談会を開催しました。

この懇談会は、地域の課題を市と共有し、解決に向けて一緒に取り組んでいくことを目的に実施しました。

懇談会では、市から「生駒市の道路整備計画」「市民自治協議会」の説明のあと、各地区での道路整備状況、市民自治協議会の在り方について議論しました。

自治連合会では、今後も市

### 奈良県自治連合会 自治功労者表彰式

平成二十四年度奈良県自治連合会自治功労者表彰式が、昨年十月二十九日に奈良ホテルで開催されました。

この表彰式は、住民自治組織の役員として、地域住民の福祉向上に貢献し、行政の円滑なる推進に協力された方々をたたえるもので



今回は、小倉寺町自治会の辻野哲治会長とひかりが丘自治会の藤堂宏子会長が奈良県自治連合会会長表彰を受けられました。



との情報共有の機会を通じて、連携をとりながら、地域力の向上に向けて取り組みを続けていきたいと考えています。

### 日誌

九月	六日	第三回常任理事会 中地区自治連合会 視察研修
七日	第三回テーマ別部 会(防災)	
八日	第四回止副会長会議 第二回テーマ別部 会(市民自治)	
九日	南地区自治連合会 視察研修	
十日	西地区自治連合会 視察研修	
十一日	奈良県自治連合会 自治功労者表彰式 第四回テーマ別部 会(防災)	
十二月	二日	東地区自治連合会 視察研修
三日	第四回常任理事会 市長との懇談会 奈良県自治連合 会視察研修	
四日	第五回テーマ別部 会(防災)	
五日	生駒市総合防災訓練 第五回止副会長会議 第四回編集委員会	
六日	第五回編集委員会 第六回テーマ別部 会(防災)	
七日	第五回常任理事会 奈良県自治連合会 研修会	
八日	第一回全体集会 第八回止副会長会議 第六回編集委員会	

### 編集後記

「同士」と「同志」の使い分けに迷う人は多い。実際混同して用いられている。「同士」は自治会でも何らかの共通の関係をもった仲間のこと。名詞の下につけて接尾語的に使うことが多い。同士は世の中にあふれている。

自治会組織も同士を広げ活性化しないと発展がないと思う。子ども同士、高齢者同士、若者同士、女性同士、会員同士、同士の輪を多くしたい。「同志」は同じ仲間でも、目的や主義主張を同じくする人たちのことだと思う。ボランティアの場合はこの同志を使うと思う。いろんな同志の集団が多くなることも自治会組織の広がりにはいいと思う。もちろん良い同志の集まりであることは言うまでもない。

編集委員長 上埜 作治  
編集委員 相田 浄司  
池田 健二  
城山 英章  
溝尾 清  
森岡 文夫

キップ一枚から国内旅行・海外旅行・海外格安航空券

**いこまツアーリスト**

※お電話1本で予約、手配、発券ができます。※他社パッケージ旅行の予約ができます。※団体旅行、グループ旅行、個人旅行も迅速にお見積り致します。※各種保険も取扱っています。

【営業時間】  
●月～土曜日 AM9:30～PM6:00  
●定休日 日曜日、祝・祭日

☎(0743) **73-3636**

生駒市小明町541-3

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 1-1

生駒聖天 本山山 大生駒

**寶山寺**

大和十三佛霊場第一番  
近畿三十六不動尊霊場第二十九番

T E L . (0743) 73-2006  
F A X . (0743) 74-0070